

授業科目(ナンバリング)	介護過程ⅢB(介) (DB414)			担当教員	大町いづみ		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	4年・集中	必修・選択	選択 (介護必修)
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
介護による利用者の生活支援活動に介護過程は不可欠なものであり、介護の専門的知識・技術からなる介護実践の全体像であるといえる。本科目は、介護過程ⅢAに引き続き、本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を習得し、その人らしい生活ができるための個別の介護の提供ができるよう、介護科目で学習した知識や技術を統合して、立案した介護計画の実施・評価を行う能力を養い、介護現場において介護過程を展開していく能力を修得することをねらいとする。							④⑤⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	介護福祉士としての専門的な知識・技術を修得し、介護過程の手続きに則り、現在の課題に適応して解決するための介護過程として捉えることができる				課題レポート	50%	
情報収集、分析力	介護に関連する情報を収集し、それらを分析する能力を身につけることができる				事例検討、発表内容	20%	
コミュニケーション力	ホスピタリティの精神に基づいて、他の人の意見を傾聴するとともに、介護過程に係る課題について自分の意見を明確にした上で、相互理解を図る議論に参加できる。				事例検討、発表内容	10%	
協働・課題解決力	様々な事例の課題に対して、課題を的確に把握し、他の人と協力して課題解決に向けた方策を立案し、実行する営みに寄与できる。				事例検討、発表内容	20%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>課題レポート(50%)と事例検討、発表内容(ディベート)(50%)で評価する。</p> <p>事例検討・発表内容(ディベート)は、演習への取り組み姿勢、演習の発言内容・適切性や正確性により総合的に評価する。課題レポートは事前・事後準備、実習事例を分析・統合し、介護計画を立案しその内容(アセスメント力・思考過程・判断根拠の提示・知識の統合力・表出された言語、語彙力・専門用語の使用の適正さなど)など制作物で評価をする。なお、発表内容に関しては、授業内にコメントの形でフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>介護実習Ⅲ(介護総合演習Ⅲ)と関連付けながら、介護過程を展開していく上で、必要な情報収集やその分析、課題や目標達成、計画作成、実施、評価、計画修正などについて学ぶ。介護過程ⅢAに引き続き進めていくが、本授業では、実習の事例を通して、ケースカンファレンス(検討会)を実施し、具体的に介護過程に沿って学習を深め、介護過程の展開について、グループワークによる議論やプレゼンテーション等の方法を用いて発展的に考えていく。毎回の内容に合わせた資料などは各自が準備を行うこととする。授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：『最新・介護福祉士養成テキスト9 介護過程』 2019 中央法規出版</p> <p>指定図書：『最新・介護福祉士養成テキスト9 介護過程』 2019 中央法規出版</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>この授業は、実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、介護総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなどで学んだ内容を統合した授業を展開していきます。グループワークや発表、レポート作成、プレゼンテーションなど、他の科目で学んだ知識や技術を統合させて、介護をおこなうための思考過程を学びます。特に4年生ですので、介護観の基盤となり、介護福祉士の専門性の発揮にも深く関連してきます。みなさんにわかりやすく楽しい雰囲気の中で学べる様にしたいと思いますので、課題やレポート作成は一生懸命に取り組んでください。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	実習事例検討 (情報・アセスメント・課題) <u>介護過程の意義と基礎的理解</u>	介護実習Ⅲにおいて介護展開した事例について各自抄録にまとめ、課題までをスライドを用いて発表する。 全員でディスカッションしさらに不足する情報や、アセスメントの方向性、課題の再検討を行う。	予習：実習事例について再度見直し整理しておく 復習：アセスメントの追加、課題の調整する
2			
3			
4	実習事例検討 (課題) <u>介護過程とチームアプローチ</u>	介護実習Ⅲにおいて実施した内容の報告を発表し、検討をする。介護サービス計画や協働する他の専門職のケア計画と個別介護計画との関係性、チームとして介護過程を展開することの意義や方法を理解する。	予習：実習内容・現時点での評価を整理しておく。 復習：計画修正について考えておく
5			
6			
7	実習事例検討 (評価) <u>介護過程の展開の理解</u>	介護実習Ⅲにおける介護の評価を発表し、検討をする 個別の事例を通じて、対象者の状態や状況に応じた個別の介護過程の展開の必要性について理解する。	予習：評価内容を整理する 復習：介護過程の記録を準備する
8			
9	実習事例検討 (報告) <u>介護過程の展開の理解</u>	介護過程 (情報収集から評価まで) について抄録にまとめスライドで報告する 報告内容について質疑応答を行う。 個別の事例を通じて、対象者の状態や状況に応じた介護過程の展開について理解する。	予習：介護過程の記録の整理・追加修正をする。
10			
11			
12	実習事例検討 (今後の課題) <u>介護過程とチームアプローチ</u>	報告内容を検討し、事例について振り返り看護過程を考察し、事例からの学びを整理する また、介護サービス計画や協働する他の専門職のケア計画と個別介護計画との関係性、チームとして介護過程を展開することの意義や方法を理解する。	予習：介護過程の評価、今後の課題を整理し考察する 復習：チームの計画として機能したか確認をする。
13			
14			
15	まとめ	介護過程の展開の考察を通して、専門職としての介護福祉士が介護過程を展開する意義を確認する	